

平成28年度第1回我孫子市廃棄物基本問題調査会議事概要

1. 会議の名称 我孫子市廃棄物基本問題調査会
2. 開催日時 平成28年9月15日(木) 午前10時00分から
3. 開催場所 我孫子市分館庁舎2階 小会議室
4. 出席委員 染谷正行(会長)、鈴木正己(副会長)、土屋耕平、鈴木泰子、米川栄子、高橋美知代、若王子範文、関口均、金井義昌、井下田猛、中野優、横山悦子(以上12人)
欠席委員 小林等(以上1人)
事務局(市) 杉山環境経済部参与、増田課長、伊藤主幹、佐野課長補佐、川口主査長、萩谷主査長、五十嵐担当業務長、松澤主査
5. 報告事項 (1) 新規廃棄物処理施設の整備計画の進捗状況について
(2) 新規廃棄物処理施設整備の今後のスケジュールについて
(3) 廃棄物処理施設先進地視察について
6. 公開 公開
7. 傍聴人 1名
8. 会議の内容
(1) 新規廃棄物処理施設の整備計画の進捗状況について
(2) 新規廃棄物処理施設整備の今後のスケジュールについて
(1)(2)について、事務局から当日資料に沿って説明を行った。

【主な質疑回答】

- 委員 PFIの導入可能性調査の調査結果については、この調査会で報告をしていただけるのか？
- 事務局 結果が出たときに皆様にご報告し、ご審議していただくことになります。
- 委員 別紙1-2に運営事業方式検討委員会とあるが、PFI方式で行うと決まっているということなのか？公設公営等も含むのか？
- 事務局 公設公営・公設民営・民設民営などその他も含めて事業方式をPFI導入可能性調査で決定していきます。今のところは、何も決まっていません。現在、PFI導入可能性調査の動向調査の中で分ってきていることは、事業費は市が持って、維持管理運営は民間のノウハウを活かすDBOが主流となっています。
- 委員 コストも大事だが、行政が責任を取れる仕組みも必要と考える。委託調査の結果を議論していかなければならないと考えるが？
- 事務局 今後、ご審議をお願いすることになると考えます。

委員 別紙1-2「9解体・造成・建設工事」にプラント建設工事は入っているが、建物の建設がこの中に入っていないが？

事務局 建物の建設はプラント建設工事の中に含まれます。

委員 建設工事はこれ一つだけか？

事務局 はい。そのとおりです。

委員 2つに分けて建設する計画だったのでは？

事務局 第一次計画と第二次計画とありまして、平成28年度から平成32年度までの第一次計画で焼却施設の新設を行い、完成後、第二次計画で、今ある焼却施設の解体をしまして、資源価値向上施設を解体後の場所に移す予定です。

委員 第二次計画は今後、新たに出てくる？

事務局 今後、平成33年度以降に5カ年計画で進めていきます。

委員 旧焼却灰資源化施設の解体にあたって、周りの環境を調査したときに、地中の汚染具合によって、計画を変更するようなことはあるのか？

事務局 旧焼却灰資源化施設の解体について変更はない。なお、ダイオキシン類の付着やアスベストの使用も考えられることから、調査は行う。また、解体時にも常時測定を行っていく。

委員 焼却施設の建設に伴い、びん選別施設などリサイクル施設が一部かかる可能性があるとのことだが、配置転換などで影響が出ないようにはしていくのか？

事務局 影響する施設が出てくる可能性はあるが、今後の詳細配置計画の中で検討していく。もし影響が出てくる場合は、移設や新たな廃棄物処理施設の中に入れ込んでいくなど方法を検討していく。

委員 環境影響評価の調査地点の距離で1kmと2kmとあったが、調査距離の基準はあるのか？

説明員 国の基準では概ね1kmとなっておりますが、北側の1km先は、茨城県の利根川河川敷であるため、民家などがあるその先の影響を調査したいことから、1km以上に設定しています。

(3) 廃棄物処理施設先進地視察について

事務局から当日資料に沿って説明を行った。

【主な質疑回答】

委 員 八街市クリーンセンターは、いつ頃建設されたのか？

事務局 平成15年9月になります。

委 員 我孫子市が建設を考えているストーカ炉であるのか？

事務局 同じです。なお、我孫子市の建設予定地は2.9haで、八街市は1.4haと約2分の1で建設していることから、その点も確認したい。

委 員 建設と運営方式は？

事務局 未確認のため、視察当日にご報告します。